

「アクセシブルデザイン ～ 高齢者・障害者の知覚・認知特性に配慮した人間中心のデザイン～」

目次

発刊にあたって

執筆者プロフィール

第1章 高齢者・障害者配慮デザインの経緯と社会的背景 《佐川 賢》

1. 多様性のある世界
2. 多様性を包含するデザイン概念
 - 2.1 ノーマライゼーション (normalization)
 - 2.2 バリアフリーデザイン (barrier free design)
 - 2.3 ユニバーサルデザイン (universal design)
 - 2.4 デザインフォーオール (design for all)
 - 2.5 インクルーシブデザイン (inclusive design)
 - 2.6 トランスジェネレーションデザイン (transgenerational design)
 - 2.7 アクセシブルデザイン (accessible design)
3. 同じゴールを目指して

第2章 アクセシブルデザインの基本概念 《佐川 賢》

1. ISO/IEC Guide 71 におけるアクセシブルデザイン
2. 基本概念
3. 2つの主要なデザイン戦略
 - 3.1 複数の提示方法と操作方法
 - 3.2 加齢や障害による機能変化に適合したデザイン
4. アクセシブルデザインの理論的考察
 - 4.1 アクセシビリティ
 - 4.2 アクセシビリティとユーザビリティ
 - 4.3 アクセシブルデザインと福祉用具

第3章 高齢者や障害者の不便さ 《佐川 賢》

1. アクセシブルデザインの出発点
2. 社会的要因と身体的要因によって生ずる不便さ
3. 不便さの理解と解決のニーズ
 - 3.1 概要
 - 3.2 視覚に障害がある人々の不便さ
 - 3.3 聴覚に障害がある人々の不便さ
 - 3.4 運動や動作に障害がある人々の不便さ
 - 3.5 知的活動に障害がある人々の不便さ
 - 3.6 高齢者の不便さ

第4章 複数の提示方法および操作方法 《佐川 賢》

1. 概要—複数の手段の重要性—
2. 複数の情報提示方式
 - 2.1 複数の感覚を用いた情報提示方式
 - 2.2 同一感覚の異なる様式を用いた情報提示方式
3. 複数の操作方法

第5章 視覚特性と配慮デザイン 《伊藤 納奈, 佐川 賢》

1. 加齢や障害による視覚の概要
 - 1.1 視覚の加齢変化
 - 1.2 視覚障害による機能変化
2. 視機能別に見た加齢や障害による変化と配慮デザイン
 - 2.1 分光視感効率と色光の明るさの評価
 - 2.2 識別しやすい色の組み合わせ (基本色領域と配色技法)

- 2.3 コントラストとモノの見え
- 2.4 可読文字サイズ (読める文字サイズ, 読みやすい文字サイズ)
- 2.5 文章のデザイン (文字間, 行間, 行長)
- 2.6 有効視野とサイン表示の位置
- 2.7 報知光の視認性

第6章 聴覚特性と配慮デザイン 《倉片 憲治》

1. 聴覚の加齢変化と障害の概要
 - 1.1 聴覚特性の加齢変化
 - 1.2 音声聴取と加齢変化
 - 1.3 加齢以外の原因による聴覚障害
2. 音を用いたアクセシブルデザイン
 - 2.1 報知音
 - 2.2 音声案内
 - 2.3 音の大きさ評価と音質設計

第7章 触覚特性と配慮デザイン 《佐川 賢》

1. 触覚の概要
2. 触圧感度の時空間特性
 - 2.1 触圧感度
 - 2.2 触覚の空間分解能
 - 2.3 触知熟練者の触圧感度および空間分解能の加齢効果
3. 触覚の時間分解能
4. 触覚による図形や文字の識別
 - 4.1 触覚図形の大きさ
 - 4.2 触覚図形のデザイン要素
5. 触覚テクスチャ

第8章 認知特性と配慮デザイン 《佐川 賢》

1. 認知特性の概要
 - 1.1 外界認識のための感覚情報の統合・処理機能
 - 1.2 認知機能の加齢効果と知的障害
2. 認知特性の加齢による機能変化と配慮デザイン
 - 2.1 概要
 - 2.2 一度に把握できる視覚情報の数
 - 2.3 視覚探索における妨害作業の影響
 - 2.4 記憶作業中の妨害作業の効果
 - 2.5 認知的デザイン

第9章 標準化と普及 《佐川 賢》

1. 標準化の意義
2. 標準化の始まり
3. 国際標準化活動
 - 3.1 COPOLCO と Guide
 - 3.2 技術報告書 TR22411 の発行
4. 共通基盤規格の開発 (TC159, TC173 の活動)
 - 4.1 TC159 のアクセシブルデザイン規格
 - 4.2 TC173 「福祉用具」のアクセシブルデザイン規格
 - 4.3 TC122/WG9 「包装のアクセシブルデザイン」における規格
5. その他と今後の活動

第10章 アクセシブルデザインのガイドライン 《佐川 賢, 倉片 憲治》

1. アクセシブルデザインの基本目標 :ユーザーの拡大を目指す
2. ユーザーの拡大のための2つの要件
3. 製品・環境・サービスが満たすべき基本的要件 (人間工学的システム要件)
 - 3.1 概要
 - 3.2 基本要件—より多くの人が利用できるデザインとする—
 - 3.3 使用性要件—分かりやすい表示や操作とする—
 - 3.4 安全性要件—安全を確保する—
4. 多様な人間特性からの要件 (ユーザーニーズ要件)

- 4.1 概要
- 4.2 視覚障害者のユーザーニーズとデザインガイドライン
- 4.3 聴覚障害者のユーザーニーズとデザインガイドライン
- 4.4 知的障害者のユーザーニーズとデザインガイドライン
- 4.5 高齢者のユーザーニーズとデザインガイドライン

索引

※ 本書に記載されている会社名, 製品名, サービス名は各社の登録商標または商標です。
なお, 必ずしも商標表示 (®, TM) を付記していません。